

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



2019.5
No.
545



また7月上旬から中旬にかけての豪雨で堤外地を中心二度の冠水・浸水の被害が発生し、156ha余りの小麦が廃耕となりました。一転、7月下旬には連日の真夏日となり、昨年同様、月替わりでの不安定な天候となりましたが、畑作物では馬鈴薯・小豆を除き、概ね平年並みの収穫量が確保でき、酪農では粗飼料の生育不良と収穫作業の遅れによる品質の低下が懸念される

総会は9時00分に開会宣言が行われ、その後、出席者全員でJA網領を朗唱し始まりました。

開会にあたり川上和則組合長は、昨年振り返り「平成30年の本町農業は順調な雪解けにより、早めの春耕期を迎えたが、連休後半からの降雨により播種作業は平年と比較すると遅い終了となりました。6月から7月上旬にかけては降雨と日照不足、低温

ほか、9月6日の胆振東部地震により北海道全域で停電となり、約30tの生乳を廃棄する残念な結果となりました。このような情勢のなか、本年

度の農畜産物取扱高は計画対比110%となる51億6千万円となり、交付金・補給金などを含めた総支払額では68億3千万円の実績となりました。

また昨年はJA創立から70周年の節目の年となり、今日の本町農業の礎を築いた先人のご苦労ご努力に感謝申し上げますとともに、記念事業として記念講演を行ったほか、

組合員総意のもと名誉組合員の称号を久世篤史元組合長に授与できましたことは、誠に感慨深いものがあります。次に、主要事業の実績ですが、信用事業は組合員をはじめ地域利用者のご協力のもと、年度末の貯金残高は計画対比101%、前年から3億3千万円増加となる117億6千万

総合農業協同としての体制の継続

第71回JAとじゆ通常総会



議長就任挨拶を述べる
関根さん(左)、安藤さん(右)



開会挨拶を述べる
川上組合長



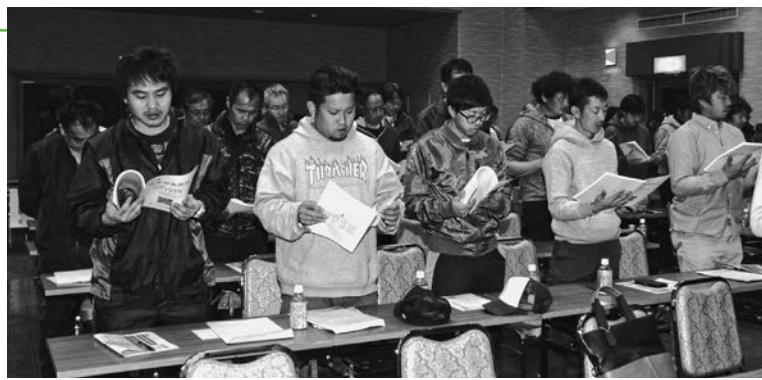
農業情勢などを
報告する小野寺会長



祝辞を述べる
船橋道議会議員



系統を代表し祝辞を
述べるJA北海道中央会
北見支所の山元支所長



出席者全員で行われたJA綱領の朗唱



監査報告を行つ
今橋正弘代表監事



特別決議(案)を
読み上げる
江田副組合長



専業地区農業について
質疑を行う
米山忠雄さん(岐阜地区)



ICT農業などについて
意見を述べる
小野寺靖さん(福山地区)

円となり、また貸付金は受託資金と合わせ前年より約1億円減少し、26億8千万円となりました。共済事業は組合員各位のご協力と広域推進により、共済保有高307億円、長期共済の新契約高は計画対比171%の30億8千万円となりました。購買事業は系統結集と予約購買の有利性を発揮し、供給高は計画対比107%の18億1千万円の取扱いとなりました。以上の経過から当期剰余金1億1千7百万円を計上することができますことは、組合員各位のJAへのご理解と結集の賜物」と感謝の言葉を述べました。

また、農協改革について「今後の信用事業のあり方にについて組織討議を行つて参りましたが、これまで同様な組合員サービスを維持していくためには、総合農協としての体制を継続していくことが最善であると判断をしました。そのための内部統制に係る費

用負担は増えますが、機構改正により効率化を図り事業利益の確保に努めて参ります」と話しました。

引き続き、来賓を代表し辻直孝北見市長、JA北海道中央会北見支所山元勝博支所長、北海道議会船橋賢二議員より祝辞を受けた後、議長に関根隆博さん(富丘地区)、副議長にJAところ青年部の安藤貴彦部長を選任し、議案審議に入りました。

議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成30年度事業報告と決算報告、さらには、第29回JA北海道大会決議事項の実践についてなど9議案が提出されました。

質疑では、農産物価格が低下している状況での專業地区農業の今後の方向性を問われ川上組合長は、「農業機械や資材は昔と比較し、とても高価になっている。スマート農業を実践しても、経費削減は難

しい。農業所得増大のために農政連などを通じ要請しているが、農協としても取り組んでいきたい」と強く話しました。また、農業の大型化に伴う用負担は増えますが、機構改正により効率化を図り事業利益の確保に努めて参ります」と話しました。

議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成30年度事業報告と決算報告、さらには、第29回JA北海道大会決議事項の実践についてなど9議案が提出されました。議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成30年度事業報告と決算報告、さらには、第29回JA北海道大会決議事項の実践についてなど9議案が提出されました。

議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成30年度事業報告と決算報告、さらには、第29回JA北海道大会決議事項の実践についてなど9議案が提出されました。議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成30年度事業報告と決算報告、さらには、第29回JA北海道大会決議事項の実践についてなど9議案が提出されました。



オブザーバーとして出席した
JAとこ3女性部の皆さん



議案第1、2号は拳手により可決となりました

高品質な南瓜生産を目指して

—常呂町南瓜生産組合通常総会—

常呂町南瓜生産組合（植松正仁組合長）は4月9日、JA会議室で第6回常呂町南瓜生産組合通常総会を開き、組合員の人が出席しました。

開会にあたり、植松組合長が挨拶を行った後、来賓を代表し当JAの川上和則組合長が祝辞述べました。

その後、植松組合長が議長を兼務し、議事進行が行われ、提出された議案は満場一致で原案通り可決されました。

平成30年度は悪天候の影響もありましたが、適期収穫、防除の徹底、キュアリング室活用による保管により、良品質な原料を供給することができました。

議事進行をする植松組合長



●慎重審議の結果、全議案が可決されました

南瓜の生産や面積増に努めて参りますので、組合員皆様方のご協力を願い申し上げます。また、総会終了後、トキタ種苗株式会社より今井明氏を講師として招き、「南瓜の新品種紹介及び事例紹介」をテーマに、講習会を実施しました。

常呂町農民同盟（梅田俊則委員長）は4月5日、JA会議室で第71回通常総会を開き、盟友14人が出席しました。

開会にあたり、梅田委員長



●総会に出席した皆さん

北見地区農民連盟の佐藤廣幸副委員長から祝辞を頂き、川上組合長は「常呂の農業は長年にわたり大雨による被害を受けてきた。北見市を通じて道・国に働きかけ、

また、来賓として北見市常呂総合支所の丸本哲之産業課長、北見地区農民連盟の山野涼事務局長も同席しました。総会は、梅田委員長が議長を兼務し、平成30年度の運動経過報告と収支決算報告、平成31年度の運動方針及び収支予算案が審議された後、全議案とも原案通り承認されました。



開会挨拶を述べる梅田委員長

家族農業を守るために地区・道と連携を

—常呂町農民同盟通常総会—

は「昨年度はTPP11、日EU・EPAが発効となった。

また、本年度は消費税が増税となり、軽減税率制度の開始による納税事務の作業量の増大が懸念される。

今後も当同盟は、家族農業を守るために、地区農連・道農連と連携し、要請活動などを実行して参りたい」と挨拶を述べました。

引き続き、来賓のJAところ川上組合長、北見市辻孝宗常呂自治区長、

また、来賓として北見市常呂総合支所の丸本哲之産業課長、北見地区農民連盟の山野涼事務局長も同席しました。総会は、梅田委員長が議長を兼務し、平成30年度の運動経過報告と収支決算報告、平成31年度の運動方針及び収支予算案が審議された後、全議案とも原案通り承認されました。

全員で団結できるクラブ活動を

—常呂町4Hクラブ通常総会—

常呂町4Hクラブ（中島賢人会長）は3月15日、第51回通常総会をJJA会議室で開き、クラブ員20人が出席しました。

中島会長の開会挨拶で、「昨年の収穫菜では、作物の売れ行きも好調ほぼ完売することができました。本年もクラブ員全員で協力し調査・研究を進めていき、より一層4Hクラブを盛り上げていってほしい」と呼び掛けました。

その後、来賓の当JJAの川上組合長と北見市辻常呂自治区長、網走農業改良普及センターの草間議次長から祝辞が述べられた後、中島会長が議長を兼任して議案審議に入りました。

慎重審議の結果、議案第1号から7号まで原案通り可決されました。さらに、本年度も引き続き地域活動に積極的に参加する他、プロジェクト活動で得られた結果を地域に広めていくことを確認し、閉会しました。

また、役員の任期満了に伴う役員改選が行われ、新役員が承認されました。



(上)開会挨拶を述べる中島会長
(下)選任された山本さん、麻畠さん、齊藤さん、岡崎さん、久世さん(左から)

れた山本将大さんは「不慣れではありますが、皆様の協力のもと、新しいメンバーと共にやっていきたいと思います。楽しく和気あいあいとした4H活動を心がけていきたいと思いますのでよろしくお願い致します」と力強くクラブ員に呼び掛けました。

新役員は次の通り（敬称略）

○会長	…	…	山本 将大
○副会長（兼書記）	…	…	麻畠 大
○会計	…	…	齊藤 太賀
○試験圃場長	…	…	岡崎 駿一
○学習部長	…	…	久世 達也

北海道の農業・農村を担う一員として

—常呂町4Hクラブ新規就農者激励会—

れ交流を深めました。

常呂町4Hクラブ（山本将大会長）は4月8日、第42回新規就農者激励会を開き、新規就農者5人とクラブ員18人、さらに来賓の当JJAの川上組合長、北見市常呂総合支所の須藤勇一支部長、網走農業改良普及センターの草間次長、関係者4人が出席しました。

4Hクラブ綱領朗唱後、当JJAの川上組合長は「4Hクラブの活動を通して農業を学んでいくてほしい。これから

の常呂町農業の発展には若い世代の活気あふれる力が必要なので、他地区との交流を行い、知識を吸収していくともらいたい」との挨拶がありました。

その後、関係機関の自己紹介、クラブ員の自己紹介が行われました。また、レクリエーションでは「手押し相撲」が行われました。



（敬称略）（内はJJA組合員氏名）

【4Hクラブ新規加入者】

米山 東輔（忠雄）

大友 雅也（茂己）

佐藤 陸也（文彦）

江田 拳（哲）

森澤 佑紀（博人）

激励会終了後、環境美化運動の一環として栄浦地区でクラブ員全員がゴミ拾いを行いました。



(上)開会挨拶を述べる山本会長
(中)新しく4Hクラブに加入した米山さん、江田さん、森澤さん、佐藤さん、大友さん(左から)
(下)激励会終了後、クラブ員全員でゴミ拾いをしました

鳥獣の拡散試験行われる!!



北海道猟友会北見支部常呂分会（馬木昇会長）は4月3日、北見市常呂町内各所で鳥獣（白鳥など）の拡散試験を行いました。

この拡散試験は、秋蒔き小麦などの圃場に鳥獣が飛来し、圃場を荒らすなどの被害に合っている組合員からの要請があり、猟友会常呂分会に依頼し、行われたものです。



ドンビ玉の設置をする
馬木会長（左）と土田貴千さん（右）

所の圃場での鳥獣の追い払い作業を終了しました。



牛乳豆腐サラダを作る皆さん



キレイに盛りつけた料理を参加者でいただきました

牛やのかあちゃんの会（常呂町酪農振興会婦人部）は3月11日に、ファーマーズハウステスで料理講習会と繁殖管理についての講習会を開きました。

料理講習会では、参加者全員が乳製品を使用した料理を含めて品を作り、昼食として

美味しくいただきました。講習会では、NOSA一オホーツク大空支所から荒井桂獣医師を講師に招き、料理講習会から参加していただきました。酪農経営の要である発情発見について、より良い人工授精のタイミングなどを改めて学び、各自の授精状況に

ついても見直さないと話していました。今回参加した会員もそれぞれが気になっていた事について質問を行い、意見の交換や飼養管理などについての詳細も話し合いながら、とても有意義な講習会になりました。

牛やのかあちゃんの会





立会人が立会のもと
調印式が行われました



家族経営協定合同調印式に参加した皆さん

JJAところ（川上和則組合長）は4月15日、JJA会議室で、家族経営協定合同調印式を開き、安藤英徳さん、植松孝雄さん、遠藤圭一郎さんの3組の家族が、ところオリジナル様式の『ところ型家族経営協定書』に調印、締結しました。

家族経営協定は、家族農業経営に携わる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

式典では、各立会者から「家族皆さんで決めたルールをしっかりと実行できるように頑張ってもらいたい」と激励の言葉が贈られました。締結した家族は、「家族全員で連携を取つて能率アップを目指していきたい」と笑顔で話しました。

JJAところ（川上和則組合長）は4月15日、JJA会議室で、家族経営協定合同調印式を開き、安藤英徳さん、植松孝雄さん、遠藤圭一郎さんの3組の家族が、ところオリジナル様式の『ところ型家族経営協定書』に調印、締結しました。

ほか、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター石川卓治所長、北見市第二農業委員会樺尾英司会長が同席し、各家族の調印に立ち会いました。

式典では、各立会者から「家族皆さんで決めたルールをしっかりと実行できるように頑張ってもらいたい」と激励の言葉が贈られました。締結した家族は、「家族全員で連携を取つて能率アップを目指していきたい」と笑顔で話しました。

オホーツク農業委員会連合会が管内の農業青年を対象に毎年表彰を行っている「優良農村青年」に本町から共立地区の中島賢人さんが今年度受賞され、4月の日にオホーツク農業委員会連合会会長から表彰盾が贈呈されました。

今後とも地域のリーダーとして、更なる活躍を期待致します。

第1回移動農事相談

3月19日、20日、25日に第1回移動農事相談が、各地区8会場で開かれました。

今回の移動農事相談では、3月～5月下旬までの各農作物の管理作業のポイントや秋播き小麦の融雪後の追肥方法について重視的に普及センター・農協より説明を行いました。併せて、各講習会の開催案内の呼びかけを行いました。また、農作業事故が起きた

要因から、事故防止に向けての作業環境の改善やハウス内農薬使用に関する留意事項について安全な行動を行うよう呼びかけました。

移動農事資料説明後、北見市役所より人・農地プランの概要を説明の上、見直しを行いました。



管理作業などの説明が行われました
(共立地区)

家族の話し合いで円満な家族経営を

一 家族経営協定合同調印式で3組が調印

調印式では、川上組合長のほか、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター石川卓治所長、北見市第二農業委員会樺尾英司会長が同席し、各家族の調印に立ち会いました。

式典では、各立会者から「家族皆さんで決めたルールをしっかりと実行できるように頑張ってもらいたい」と激励の言葉が贈られました。締結した家族は、「家族全員で連携を取つて能率アップを目指していきたい」と笑顔で話しました。

今後とも地域のリーダーとして、更なる活躍を期待致します。

オホーツク優良農村青年表彰



受賞された共立地区の中島さん

オホーツク農業委員会連合会が管内の農業青年を対象に毎年表彰を行っている「優良農村青年」に本町から共立地区の中島賢人さんが今年度受賞され、4月の日にオホーツク農業委員会連合会会長から表彰盾が贈呈されました。

今後とも地域のリーダーとして、更なる活躍を期待致します。



たかはし
高橋 昇 のぼる
昭和44年9月生まれ(49歳)



- ①雄武町
②北海学園北見大学
③釣り・野球とソフトボール
④JAとこの組合員のために精一杯頑張っていきたいと思います。
⑤私は、明るいだけが取り柄の人間ですので宣しくお願ひ致します。

ふじばやし
藤林 信久 のぶひさ
平成7年12月生まれ(19歳)

①網走市
②北海道農業協同組合学校
③サッカー
④JA職員としてわからないことが多い先輩方から教えてもらうことばかりで、迷惑を多くかけてしまいますが1日でも早く仕事を覚えJAで戦力になれるよう努力していきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願ひします。
⑤私は、小学校1年生から高校3年生までサッカーを続けていくことで得ることができた忍耐力を活かし、粘り強く物事に取り組み、また、多くのことにチャレンジしていきたいと思っています。

新採用職員紹介

皆さんよろしく
お願ひします!

- ①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技
④今後の抱負 ⑤自己PR

すずき
鈴木 海寿 みじゅ
平成13年1月生まれ(18歳)

①北見市
②北見藤女子高等学校
③手芸(アクセサリー作り)・バレーボール
④“働く”ということ自体が初めてなので、わからないことがたくさんある分、積極的に色々なことを学んで吸収できるように一倍努力します。社会人になるという自覚をしっかりと持ち、常にしっかりと挨拶、礼儀正しい言動を心がけて生活しています。
⑤私は、集中して作業すること、自分から人に話しかけることが得意です。特に、高校3年間の部活動で学んだ礼儀・マナー・気配り、心配りを活かしてたくさんの方に頼られる存在を目指します。

平成31年度 地区担当職員の変更のお知らせ

東浜 主:中村係長
副:高橋(誠)課長

土佐 主:佐藤課長
副:古川係長

岐阜1 主:古川係長
副:名越係長

岐阜2 主:鈴江係長
副:堤係長

岐阜3 主:藤澤課長補佐
副:鈴江係長

共立 主:原田課長
副:木村係長

豊川 主:名越係長
副:原田課長

富丘1 主:堤係長
副:藤澤課長補佐

富丘3 主:望月課長
副:佐藤課長

福山 主:高橋(誠)課長
副:中村係長

日吉 主:高橋(昇)課長補佐
副:木村係長

任期:平成31年4月15日
～令和3年3月31日

◆農協所有河川土の斡旋について◆

運搬土量 7m³/台 最低10台以上、最高100台以内まで

- 河川土運搬に際して草・草の根・枝・石などが入っていますが、ふるっては運搬しません。(現状のまま引き渡します)
- 農協は、負担金として1m³当たり100円(税別)徴収致します。
- この河川土は、育苗土には、むいていません。
- 運搬代金は、別途直接運搬業者にお支払い下さい。

希望がございましたら
営農企画課まで
ご連絡ください。

第2回理事会報告

- 第71回通常総会の招集について
原案の通り招集することで承認されました。
- 今後の事業運営の方向性について
原案の通り単独で経営基盤を確立し事業運営を行うことで承認されました。
- 労働関連規程の制定及び一部改正について
原案の通り規程の制定及び一部改正することで承認されました。
- マネロン及び反社会的勢力等への対応に関する規程の追加制定及び一部改正について
原案の通り規程の制定及び一部改正することで承認されました。
- マネロン対策強化にかかるリスク評価書の制定について
原案の通り評価書を制定することで承認されました。
- 組合員の出資金譲渡について
原案の通り出資金譲渡について承認されました。
- 第1回地区別懇談会の開催結果について
懇談会に出された意見・要望事項について審議されました。

- 労働保険事務組合手数料の設定について
原案の通り設定することで承認されました。

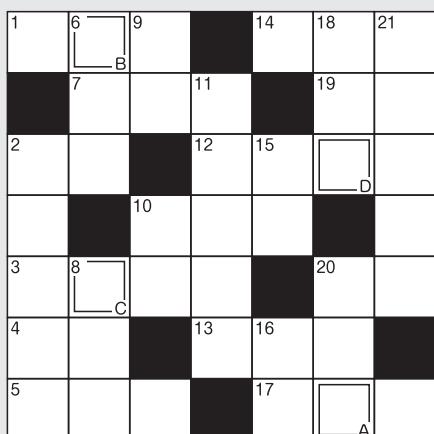
〈報告事項〉

- 平成30年度決算監査報告について
- 内部監査報告について
- 自己査定結果報告について
- 「JAバンク基本方針」の変更について
- 平成30年度 経営定期点検実施報告について
- 平成30年度中山間地域所得向上支援事業一般競争入札結果の報告について
- 株式会社農業振興公社臨時株主総会について
- 平成30年産原料てん菜代金の精算について
- 営農集団長の変更について
- 職員研修旅行の実施について
- 平成30年北海道胆振東部地震・台風21号による被災組合員に対する救援募金の配分について
- 組合員の加入・脱退について
- 職員の採用・退職について
- 農業委員会開催報告

行事予定表

5月1日(水)～5月31日(金)

5月 1日(水)	即位の日	5月11日(土)	閉組日
5月 2日(木)	国民の祝日	5月18日(土)	閉組日
5月 3日(金)	憲法記念日	5月20日(月)	職員研修旅行 第3班～24日
5月 4日(土)	みどりの日	5月25日(土)	閉組日
5月 5日(日)	こどもの日	5月26日(日)	農休日
5月 6日(月)	振替休日	5月27日(月)	第4回定例理事会



先月の当選者・解答

4月号のまちがい探しの答えは、
「4、5、6、9、11」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

山田 美智子さん(岐阜)

※()内は地区名です。

Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

ヨコのカギ

- 春の山菜の一つ。スギナの胞子茎です
- 和・〇〇・中の料理が味わえるレストラン
- 絵の具を混ぜ合わせるときに使う板
- 開店祝いに胡蝶 (こちょう) 〇〇を贈った
- 水が湧き出てくる所
- 奈良県の桜の名所
- あまり飾り気ありません
- 北海道で生まれた馬や人をこう呼びます
- 火のない所には立たぬ
- 米寿は数え年88歳のお祝い、〇〇〇は77歳のお祝い
- 「！」は感嘆符、「？」は〇〇〇符
- はさみを振りつつ横歩き
- 一、十、百、千、〇〇

タテのカギ

- お酒にのまれている人
- 先祖の冥福を祈り、追善〇〇〇を行った
- 眼鏡のフレームにはめます
- 両手と両足のこと
- 彼は質問に〇〇なく答えた
- 首の前部にある出張り
- 牧場の周りによく立てられています
- 踏むことでよく育つ穀物
- 楽しいとすぐに過ぎてしまいます
- 阿寒湖の物は特別天然記念物
- 一角獣とも呼ばれる想像上の生き物

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、竹岡菓子舗のお菓子セットをプレゼントします。

読者の声

★まちがいさがし、とても楽しかったです!!

(匿名希望)

★カーリングポッド欲しいです！

(匿名希望)



発刊されたJAところ 農協70年史

設立70周年記念事業の一環として編集を進めていた記念誌が「平成」最後となる31年4月に発刊となりました。

常呂町の海のある農村風景をとらえた写真を表紙に、第1編は「農協50年史」を基に設立から50年の歴史を懐古し、第2編は平成10年～30年度の事業を、写真を交えて振り返った内容となっています。

また第3編は平成28年度に策定された第8次農業振興計画を編集して掲載しています。組合員各戸にご協力いただいた家族写真や、懐かしい農協行事の写真も数多く掲載しておりますので、ご家族の皆様では是非ご覧ください。

4月23日、「農協70年史」をご執筆頂いた北見市の堀 仁志氏に、当JAより感謝状を贈呈いたしました。堀氏におかれましては記念誌の原稿執筆・編集のみならず、常呂町の美しい四季折々を写真に収め、細部に渡り心血を注いで頂きました。また、当J

Aの広報アドバイザーを平成26年から31年4月までの5年間務め、広報誌「光と風の大地」の紙面充実に多大なるご助力を頂きました。

その功績を称え、当誌面に於いて改めて感謝の意を表します。



堀氏(中央)の功労を称える川上組合長、石山茂実参事(左から)

- 春の蒔き付け作業が始まり、大変お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。これからさらに農作業が本格化しますが、くれぐれも農作業事故には十分に気をつけ、豊穣の秋を迎えることをご祈念致します。
- 誌面でご紹介の通り、新しい職員も増えました。これからたくさんの方で関わることがあると思います。また、より良い誌面作りのために農作業中に取材に行くことが増えると思いますのでその際は、よろしくお願い致します。《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち



玉葱の移植作業を行う田渕浩基さん

今月の表紙は、豊川地区の田渕浩基さん(26)です。玉葱の移植作業をしているところを撮影させていただきました。

苗積み作業中、今年の抱負について聞くと田渕さんは「昨年は自然災害で廃耕となつた圃場もあり、悔しい思いをした。今年こそは自然災害にも負けず全ての作物をしっかりと収穫したい!」と話してくれました。

農繁期にも関わらず、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。